

# 大径クヌギの利用技術の開発

林業研究部

## 1. 研究の背景

我が県は乾シイタケ生産量日本一と椎茸生産が盛んであり、その栽培に使われるクヌギ等の植栽面積も日本一である。しかし、近年、生産者の高齢化などからクヌギの利用量が減少し、適期に伐採されず大径化する林が増加している。これまでクヌギは椎茸栽培以外に使い道が無かったため、新たに材料として利用する技術を開発した。

## 2. 研究成果の内容・普及のポイント

クヌギ材を用いた家具の開発



大径クヌギ林の増加



木取・乾燥技術の開発



ツギ板性能試験



食器棚



丸テーブル



暖卓 A



マガジラック



枕元テーブル



暖卓 B

製品試作・耐久性試験



クヌギ家具の商品化事例（株式会社アサヒ、「大川夏の彩展2012」出展品リーフレット、2012年7月取得）

## 3. 期待される効果

- ・未利用資源の活用
- ・しいたけ原木林の再生

## 4. 担当機関連絡先

林業研究部 木材チーム  
 TEL：0973-23-2146  
 住所：日田市大字有田字佐寺原35